

戦争体験者の声に耳傾けよ

無職

(広島県 74)

声欄で月1回掲載の「語りつく戦争」を切り抜いている。投稿を読み、一言も声が出ないほどつらいことがある。その度に涙が出て打ちのめされる。戦争当事者の声を聞くことでしか、その悲惨さや悲しみに思いを致すことはできない。

投稿者は90代、80代の方が多い。昨年12月の「溺死の戦友 暴言吐いた上官」、今年3月の「トラック島で餓死 兵の無念」、5月の「ニューギニアで死の山越え」……。今の政治情勢に

も触れておられる。「戦場で死ぬのは若者だ。今、反対の声を上げよ」「破壊と殺戮なるが故に戦争の罪悪を限りなく憎む」。従軍体験者がこらした声を上げざるを得ないほどの不安感を、安倍政権は国民に与えていると思う。

敗戦時、4歳の私。大阪の自宅は空襲で焼け、心のよりどころを失った。安倍政権は米国の戦争を支える安全保障法制を急ぐ。日本はまた戦争への道を歩むのか。「引き返す勇氣を持つて下さい」と安倍晋三首相に心から申し上げたい。